

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
 誤った取扱いなどによる事故防止のために、本取扱説明書は最終的に本器をお使いになる方のお手もとに、
 確実に届けられるようお取り計らいください。

⚠ 注意

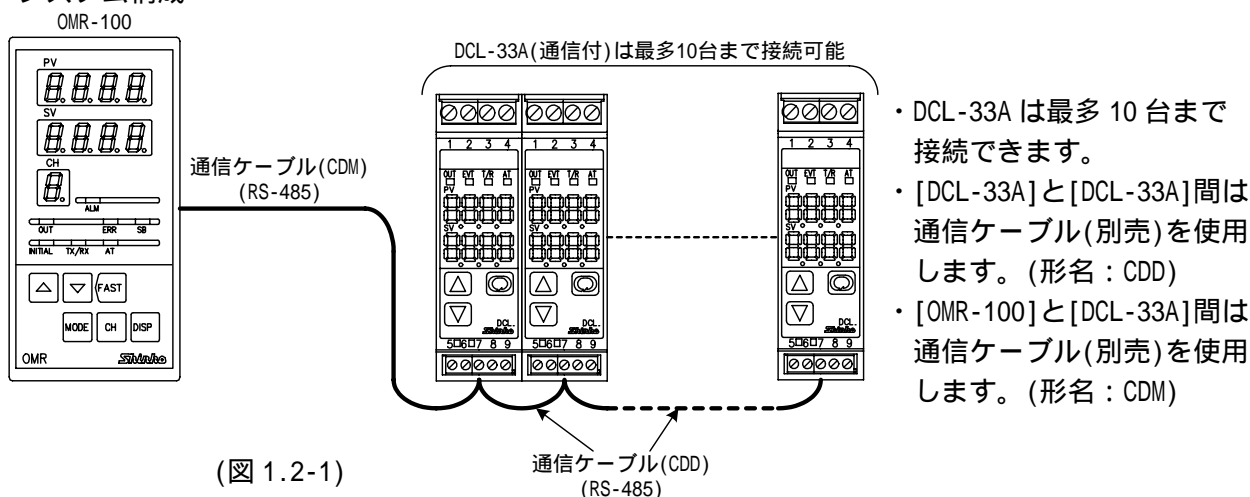
- ・本器は、記載された仕様範囲内で使用してください。
 仕様範囲外で使用した場合、火災、本器の故障の原因になります。
- ・本取扱説明書に記載されている警告事項、注意事項を必ず守ってください。
 これらの警告事項、注意事項を守らなかった場合、重大な傷害や事故につながる恐れがあります。
- ・本書の記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本器は制御盤内に設置して使用することを前提に製作されています。
 使用者が電源端子等の高電圧部に近づかないような処置を最終製品側で行ってください。
- ・清掃は、計器の電源が入っていないことを、必ず確認してから行ってください。
- ・本器の汚れは、柔らかい布類で乾拭きしてください。
 (シンナ類を使用した場合、本器の変形、変色の恐れがあります。)
- ・表示部は傷つきやすいので、硬い物で擦ったり、叩いたり等はしないでください。
- ・本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- ・本器の故障、または製品の使用において故障が生じた直接、間接の損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

1 概要

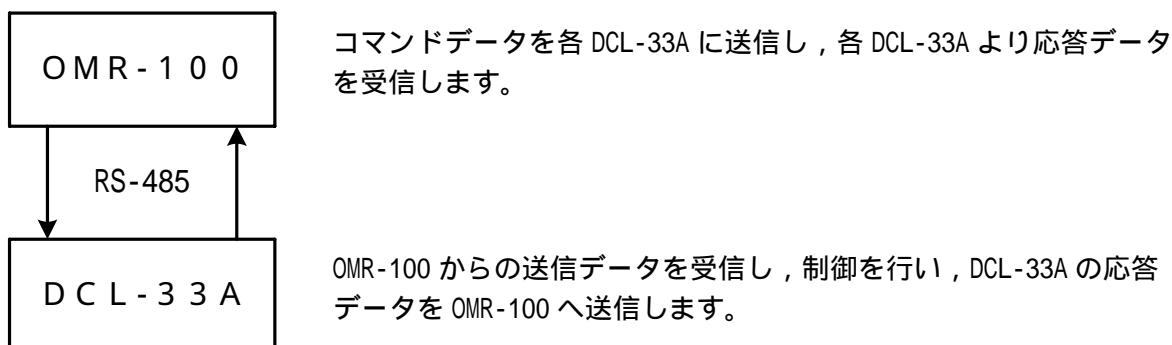
1.1 OMR-100の概要

コンソールユニット[OMR-100]にDCL-33Aを接続した場合、表示器付の指示調節計[J C - 3 3 A シリーズ等]を使用する感覚で、DCL-33Aのモニタができます。

1.2 システム構成



1.3 パラメータのやりとり



(図 1.3-1)

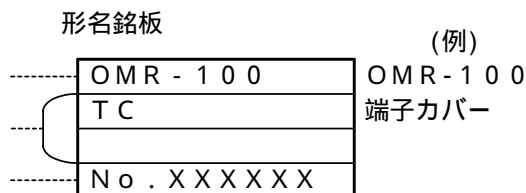
2. 形名

2.1 形名の説明

OMR-100 : コンソールユニット(DCL-33A用)

2.2 形名銘板の表示方法

形名銘板は、ケースと内器に貼ってあります。



: 形名, : オプション名, 電源電圧(24V AC/DCのみ1を記入)

: 計器番号(内器のみに表示)

3. 各部の名称とはたらき

PV表示器

入力値を赤色表示器に表示します。

SV表示器

設定値を緑色表示器に表示します。

CH表示器

チャンネル番号を黄色表示器に表示します。

OUT表示灯

チャンネル表示器に表示しているチャンネルの制御出力がONの時、緑色表示灯が点灯します。

INITIAL表示灯

各DCL-33Aの設定値を読取りを行っている時、黄色表示灯が点灯します。

TX/RX表示灯

シリアル通信時、黄色表示灯が点滅します。

ALM表示灯

チャンネル表示器に表示しているチャンネルの警報出力がONの時、赤色表示灯が点灯します。

ERR表示灯

通信異常が発生した時、約2秒間隔で赤色表示灯が点滅します。

SB表示灯

チャンネル表示器に表示しているチャンネルのセンサが断線した時、赤色表示灯が点灯します。

AT表示灯

チャンネル表示器に表示しているチャンネルのATが実行中の時、黄色表示灯が点灯します。

アップキー

設定値の数値を増加させます。

ダウンキー

設定値の数値を減少させます。

ファーストキー

アップキー、またはダウンキーと同時に押すことにより、数値の送りを早くします。

モードキー

設定モードの切替、設定値の登録を行います。

(設定値、選択値の登録は、モードキーを押すと値を登録します。)

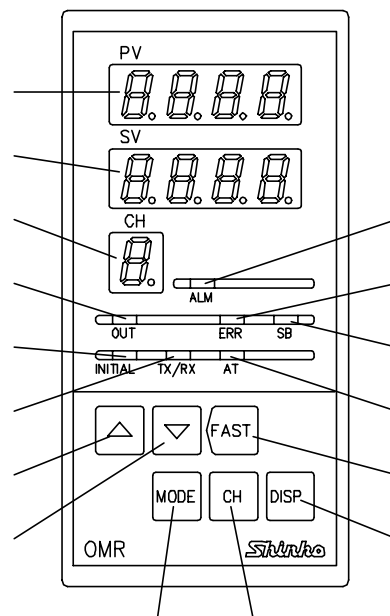
チャンネルキー

PV、SVを表示するチャンネルを選択します。

設定モードの時、設定したいチャンネル番号を選択します。

ディスプレイキー

PV、SVを表示するチャンネルを自動的に切替えて表示するか、手動で切替えて表示するかを選択します。



(図3-1)

⚠ 注意

本器の仕様・機能を設定する場合は、[4. 制御盤への取付け]、[5. 配線]より前に端子、へのみ、電源を配線して[7. 設定]をご覧になりながら設定を行ってください。

4 . 制御盤への取付

4.1 場所の選定(次のような場所でご使用ください)

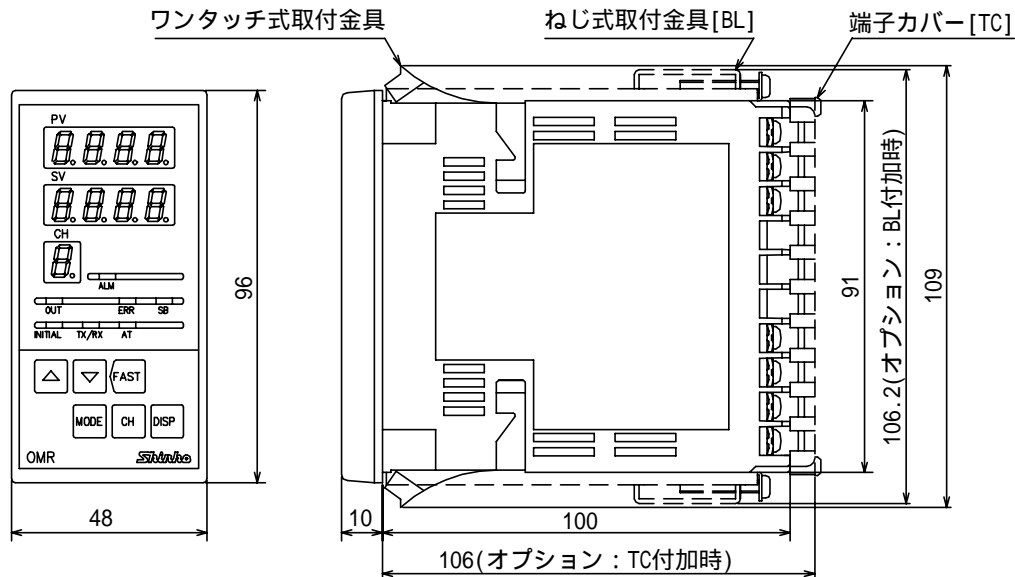
[本器は、次の環境仕様で使用されることを意図しています。(IEC61010-1)]

- ・過電圧カテゴリ ， 汚染度 2

[本器の使用は、下記のような場所でご使用ください。]

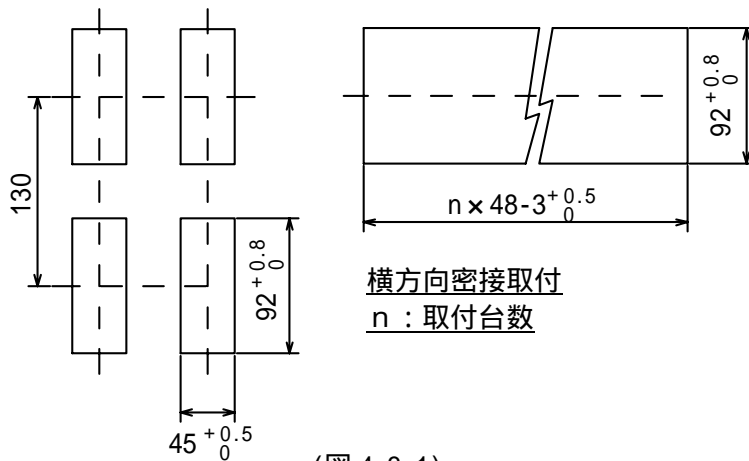
- ・塵埃が少なく、腐蝕性ガスのないところ。
- ・可燃性ガス、爆発性ガスのないところ。
- ・機械的振動や衝撃の少ないところ。
- ・直射日光が直接あたらず、周囲温度が 0～50 (32～122F) で、急激な温度変化のないところ。
- ・湿度は 35～85%RH で、結露の可能性がないところ。
- ・大容量の電磁開閉器や大電流の流れている電線から離れているところ。
- ・水や油、薬品等、またはそれらの蒸気が直接あたるおそれのないところ。

4.2 外形寸法図



(図4.2-1)

4.3 パネルカット



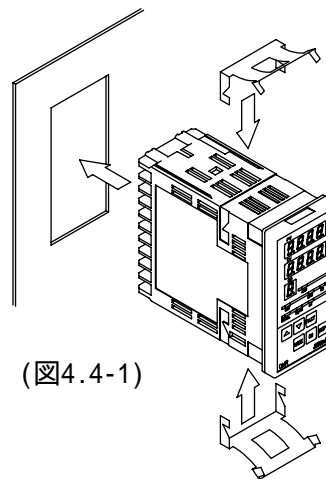
(図 4.3-1)

4.4 取付け



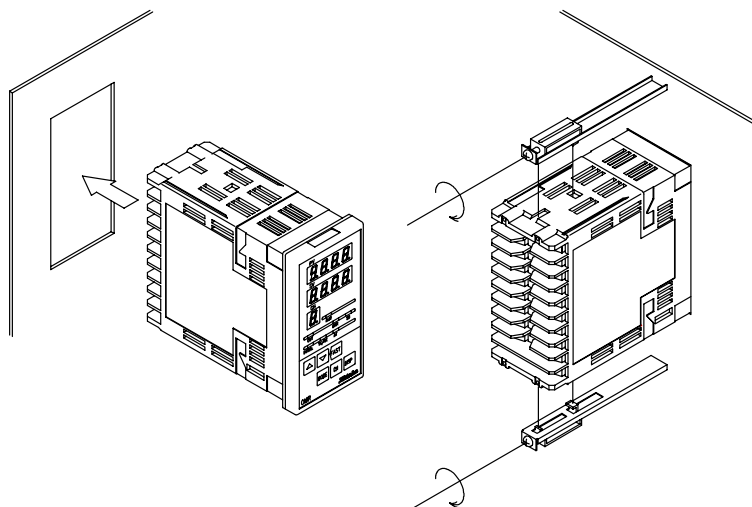
ケースは樹脂製ですので、取付金具のねじを必要以上に締め過ぎると、取付金具やケースが変形するおそれがあります。0.12N・m ぐらいで締めてください。

ワンタッチ式取付金具を使用する場合
 取付け可能なパネルの板厚：1～3mm 以内。
 先にワンタッチ式取付金具 を計器の上下に取
 付けてから計器 を制御盤前面から挿入します。
 ソフトフロントカバー(FC-R-S)を用いると、取
 付け可能なパネルの板厚は1～2.5mm 以内。



(図4.4-1)

ねじ式取付金具(オプション:BL)を使用する場合
 取付け可能なパネルの板厚：1～15mm 以内。
 計器を制御盤前面から挿入してください。
 ケース上下の穴に取付金具をひっかけ、ねじを締めて固定してください。
 ソフトフロントカバー(FC-R-S)を用いた場合、取付け可能なパネルの板厚は1～14.5mm 以内。



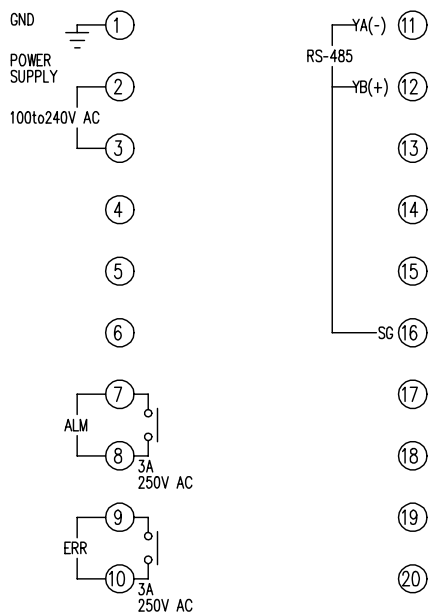
(図4.4-2)

5 . 配 線

⚠ 警 告

配線作業を行う時は、本器への供給電源を切った状態で行ってください。
 電源を入れた状態で配線作業を行うと、感電の為、人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる
 可能性があります。

5.1 端子配列



GND
 接地端子です。

POWER SUPPLY
 電源端子です。

ALM
 警報出力端子です。

ERR
 通信エラー出力端子です。

RS-485
 シリアル通信の通信端子です。

⚠ 注意

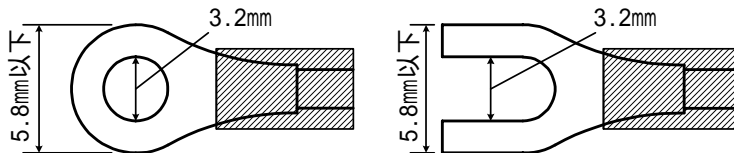
- ・ OMR-100の端子台は、左側から配線する構造になっています。
リード線は、必ず左側方向から端子へ挿入し、端子ねじで締め付けてください。
- ・ 端子ねじを締付ける場合、適正締め付けトルク以下で締め付けてください。
適正締め付けトルク以上で締め付けると、端子ねじの破損およびケースの変形を生じる恐れがあります。
- ・ 計器電源 24V DCでご使用の場合、極性を間違わないよう配線してください。
- ・ 本器は、外部電源スイッチ、遮断器およびヒューズを内蔵していません。
必ず上記の装置類を、本器の近くに別途設けてください。
(推奨ヒューズ：定格電圧 250V AC，定格電流：2Aのタイムラグヒューズ)

リード線圧着端子について

下記のような、M3のねじに適合する絶縁スリーブ付圧着端子を使用してください。

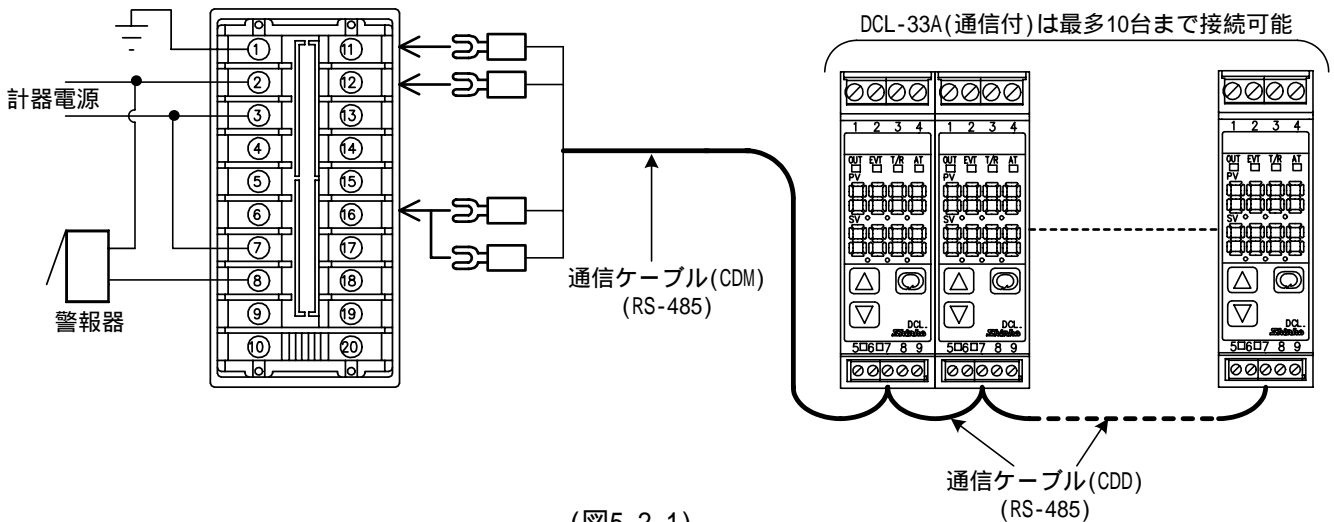
締め付けトルクは $0.6\text{N}\cdot\text{m} \sim 1.0\text{N}\cdot\text{m}$ を指定してください。

圧着端子	メーカー	形名	締め付けトルク
Y形	ニチフ端子	1.25Y-3	0.6N・m (最大 1.0N・m)
	日本圧着端子	VD1.25-B3A	
丸形	ニチフ端子	1.25-3	
	日本圧着端子	V1.25-3	



(図5.1-1)

5.2 結線例



(図5.2-1)

6 . 操作フローチャート

基本的な操作手順(操作手順の大きな流れを説明します。)

運転前の操作

- [手順 1 通信速度設定] = [OMR-100]の通信速度は 19200bps に固定していますので、各[DCL-33A]の通信速度を 19200bps にしてください。(DCL-33A の通信速度の設定は DCL-33A の取扱説明書を参照してください。)
- [手順 2 機器番号設定] = [DCL-33A]の機器番号を設定してください。
[DCL-33A]の機器番号は 0 から始め、機器番号を設定してください。
- [手順 3 台数設定] = 接続台数設定モードで、[DCL-33A]が接続されている台数を設定してください。
- [手順 4 設定項目] = 主設定モードで、各[DCL-33A]の S V , 警報値, P I D 値等を設定してください。
- [手順 5 A T 設定] = 副設定モードで、各[DCL-33A]の A T を実行するか、A T を実行しないかを設定してください。
(手順 5 が必要なければ、設定しないでください。)

接続台数の設定方法

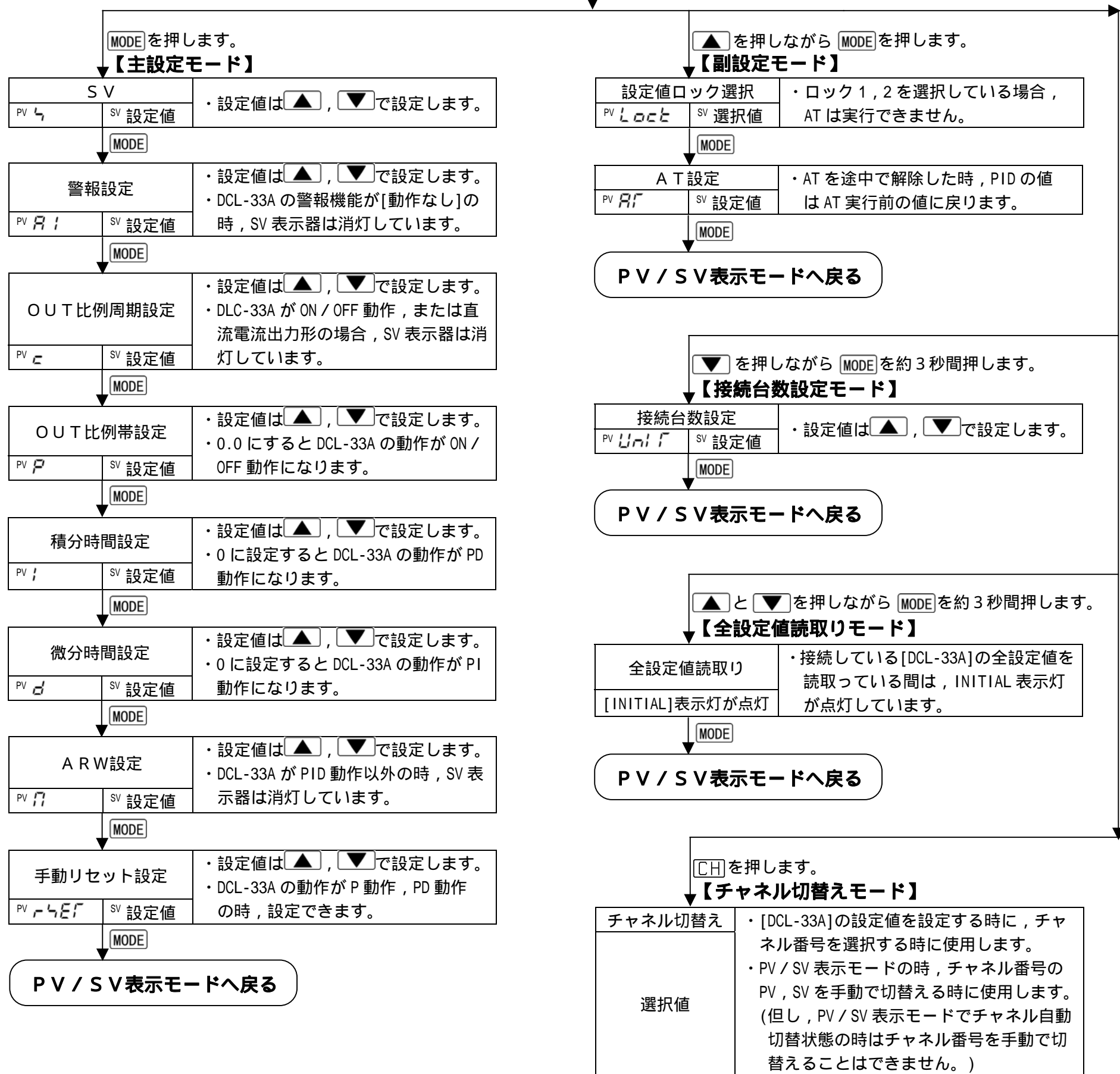
- ・ [OMR-100]が PV / SV 表示モードの時、**▼**キーを押しながら、**MODE**キーを約 3 秒間押します。PV 表示器に[Unif], SV 表示器に[現在の接続台数]が表示します。(接続台数設定モードになります。)
- ・ 接続台数設定モードの時に、**▲**キー、または**▼**キーを押して [DC L-33A]の接続台数を設定します。(SV 表示器の数値が DCL-33A の接続台数を表します。)
- ・ 接続台数の設定が完了したら、**MODE**キーを押してください。PV / SV表示モードも戻ります。

[DCL-33A]の全設定値を読取る方法

- ・ [OMR-100]が PV / SV 表示モードの時、**▲**キーを押しながら**▼**キーを押して、**MODE**キーを約 3 秒間押します。
- ・ 全設定値読取りモード時は、[INITIAL]表示灯が点灯しています。[INITIAL]表示灯が点灯している間は、接続している各[DCL-33A]の全設定値を読取っています。

MODE キーの説明
▼MODEは**MODE**キーを押すと、設定値を保存し、次の設定項目に進むことを意味します。

PV / SV表示



7 . 設 定

本器の電源投入後，下記の仕様設定を行ってください。

- ・ 本器の通信速度は，19200bpsに固定していますので，接続するDCL-33A全ての通信速度を19200bpsに設定してください。
(DCL-33Aの通信速度の設定方法は，DCL-33Aの取扱説明書を参照してください。)
- ・ DCL-33Aの機器番号を設定してください。
(DCL-33Aの機器番号は0から始め，続き番号でOMR-100に接続する台数分だけ機器番号を設定してください。)
例) DCL-33Aを5台OMR-100と接続する場合は，DCL-33Aの機器番号を0~4(DCL-33A 5台分)と設定してください。
- ・ 接続しているDCL-33Aの台数を設定してください。
DCL-33Aを2~10台接続していても，OMR-100に接続台数を設定しないと，1台分のDCL-33Aのモニタしか行いません。

7.1 主設定モード

主設定モードを呼出して，各設定項目を設定する前に[CH]キーを押して，設定するチャンネルを選択してください。

例) チャンネル3のSV，警報設定の値を設定する場合。

始めに[MODE]キーを押して，[主設定モード]を呼び出します。

次に[CH]キーを押して，チャンネル3を選択します。(CH表示器には3と表示します。)

チャンネル3を選択した後に，SV，警報設定の値を設定します。

キャラクタ (PV表示器側)	名 称，説 明，設定範囲
↳	SV ・ 各DCL-33AのSVを設定します。 ・ スケーリング下限設定値~スケーリング上限設定値
Al	警報設定 ・ 各DCL-33Aの警報出力の動作点を設定します。 ・ 0または0.0に設定すると，警報動作ははたらきません。 (絶対値上限，絶対値下限警報は除く) ・ 選択したチャンネル番号のDCL-33Aに警報機能がなし(DCL-33Aに於いて，“警報動作選択”で動作なしを選択した場合)の場合，SV表示器は消灯しています。 ・ (表7.1-1)参照
c	OUT比例周期設定 ・ 各DCL-33Aの比例周期を設定します。 ・ 選択したチャンネル番号のDCL-33Aの動作が，ON/OFF動作または直流電流出力形の場合，SV表示器は消灯しています。 ・ 1~120秒
P	OUT比例帯設定 ・ 各DCL-33Aの比例帯を設定します。 ・ 設定値を0.0にすると，DCL-33Aの動作がON/OFF動作になります。 ・ 0.0~110.0%
i	積分時間設定 ・ 各DCL-33Aの積分時間を設定します。 ・ 設定値を0にすると，DCL-33Aの積分動作ははたらきません。 ・ 選択したチャンネル番号のDCL-33Aの動作が，ON/OFF動作の場合，SV表示器は消灯しています。 ・ 0~1000秒
d	微分時間設定 ・ 各DCL-33Aの微分時間を設定します。 ・ 設定値を0にすると，DCL-33Aの微分動作ははたらきません。 ・ 選択したチャンネル番号のDCL-33Aの動作が，ON/OFF動作の場合，SV表示器は消灯しています。 ・ 0~300秒

0	アンチリセットwindアップ設定 <ul style="list-style-type: none"> 各DCL-33Aのアンチリセットwindアップを設定します。 設定値を0にすると、DCL-33Aのアンチリセットwindアップがはたらきません。 選択したチャンネル番号のDCL-33Aの動作が、PID動作以外の場合、SV表示器は消灯しています。 0～100%
RESET	手動リセット設定 <ul style="list-style-type: none"> 各DCL-33Aのリセット値を手動で設定します。 選択したチャンネル番号のDCL-33Aの動作が、P動作、PD動作の場合のみ、この設定項目を表示します。 ±比例帯換算値

(表7.1-1)

警報動作の種類	設定範囲	
上限警報	- (スケーリング巾)～スケーリング巾	- 側設定の下限値
下限警報	- (スケーリング巾)～スケーリング巾	- 199.9または - 1999
上下限警報	0～スケーリング巾	
上下限範囲警報	0～スケーリング巾	+ 側設定の上限値
絶対値上限警報	スケーリング下限設定値～スケーリング上限設定値	999.9または9999
絶対値下限警報	スケーリング下限設定値～スケーリング上限設定値	
待機付上限警報	- (スケーリング巾)～スケーリング巾	
待機付下限警報	- (スケーリング巾)～スケーリング巾	
待機付上下限警報	0～スケーリング巾	

7.2 副設定モード

副設定モードを呼出して、A T実行を設定する前に[CH]キーを押して、A T実行を設定するチャンネルを選択してください。

例) チャンネル5のA Tを実行する場合。

最初に[▲]キー押しながら、[MODE]キーを押して、[副設定モード]を呼び出します。






次に[CH]キーを押して、チャンネル5を選択します。(CH表示器には5と表示します。)

チャンネル5を選択した後に、A Tの実行選択してください。




キャラクタ (PV表示器側)	名称, 説明, 設定範囲
Lock	設定値ロック選択 <ul style="list-style-type: none"> 設定値をロックし、誤設定を防止する機能で、選択した状態によりロックされる設定項目が異なります。 ロック1, 2を選択している場合、PIDオートチューニングは実行できません。 ----(ロック解除) : 全設定値の変更ができます。 Loc 1(ロック1) : 全設定値の変更ができません。 Loc 2(ロック2) : 主設定モードのみ変更ができます。 Loc 3(ロック3) : 変更したデータは、不揮発性メモリに書き込みを行いますので、計器電源を切ると前の値に戻ります。(メモリの寿命に関係がありません。)
AT	A T設定 <ul style="list-style-type: none"> 各DCL-33AのPIDオートチューニングを実行します。 ただし、PIDオートチューニング開始後4時間を経過しても終了しない場合、PIDオートチューニングを強制的に終了します。 選択したチャンネル番号のDCL-33Aの動作が、PID動作以外の場合、SV表示器は消灯しています。 PIDオートチューニング解除 : ---- PIDオートチューニング実行 : AT

7.3 接続台数設定モード

OMR-100の計器電源を入れたら、必ず最初に[接続台数設定]を行ってください。

キャラクタ (PV表示器側)	名称, 説明, 設定範囲
Unit	<p>接続台数設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続しているDCL-33Aの台数を設定します。 DCL-33Aを2～10台接続していても、接続台数を設定していないと、1台分のDCL-33Aモニタしか行いません。 ・1～10台(CH表示器では0～9と表示します。) <p>[接続台数の設定方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OMR-100がPV/SV表示モードの時、キーを押しながら、キーを約3秒間押します。PV表示器に[Unit]、SV表示器に[現在の接続台数]が表示します。(接続台数設定モードになります。) ・接続台数設定モードの時に、キー、またはキーを押してDCL-33Aの接続台数を設定します。(SV表示器の数値がDCL-33Aの接続台数を表します。) ・接続台数の設定が完了したら、キーを押してください。 <p>PV/SV表示モードも戻ります。</p>

7.4 全設定値読取りモード

名称, 説明
<p>全設定値読取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DCL-33A、およびOMR-100(接続台数設定モードで、DCL-33Aの接続台数を設定している時)の電源を同時に投入した場合、OMR-100は自動的に各DCL-33Aの設定値を読取り、OMR-100と各DCL-33Aの設定値を同じにします。 ・先にDCL-33Aの電源を投入して、後からOMR-100の電源を投入した場合、約5分間後にOMR-100は各DCL-33Aの設定値を読取ります。 ・全設定値読取り中は、OMR-100のキー操作で値を設定しても、設定した値は無効になります。 <p>[全設定値読取り方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PV/SV表示モードの状態、キーを押しながらキーを押して、キーを約3秒間押します。 ・全設定値読取りモード時は、[INITIAL]表示灯が点灯しています。 [INITIAL]表示灯が点灯している間は、接続しているDCL-33Aの全設定値を読取っています。

8 . 運 転

DCL-33Aの制御盤内(DINルール)への取付け、DCL-33AとOMR-100と配線が完了しましたら次の順序で運転を開始します。

- (1) OMR-100とDCL-33A 電源ON
OMR-100とDCL-33Aへ供給される電源を同時に投入します。
電源投入後、約5秒間はPV表示器に[0000]と表示します。
この間すべての出力、LED表示灯はOFF状態です。
その後、OMR-100は自動的に各DCL-33Aの設定値を読取り、OMR-100と各DCL-33Aの設定値を同じにします。
- (2) 設定値入力、または設定値変更
[6. 操作フローチャート]、[7. 設定]を参照して各設定値を入力、または変更をします。
- (3) 負荷回路の電源をONにします。
制御対象物の温度を主設定値に保つよう、DCL-33Aが調節動作を開始します。

9 . 仕 様

9.1 標準仕様

品 名 コンソールユニット

形 名 OMR-100

設 定 メンブレンシートキーによる入力方式

表 示 器 PV表示器：赤色LED 4桁，文字寸法：8×4mm(高さ×巾)

SV表示器：緑色LED 4桁，文字寸法：8×4mm(高さ×巾)

CH表示器：黄色LED 1桁，文字寸法：8×4mm(高さ×巾)

シリアル通信 通信回線 RS-485 準拠

通信方式 半二重調歩同期式

通信速度 19200bps

データ構成 スタートビット：1

データビット：7

パリティビット：偶数パリティ

ストップビット：1

送信内容 SV，警報設定値，OUT比例周期設定値，OUT比例帯設定値，積分時間設定値，微分時間設定値，ARW設定値，手動リセット設定値，設定値ロック選択，AT実行/解除

受信内容 上記送信内容とPV，状態フラグ(出力状態，オーバスケール，アンダスケール，AT中)

警報出力 警報出力が動作した時に出力をONにします。

(全チャンネル共通でOR出力です。)

リレー接点：1a 制御容量 3A 250V AC (抵抗負荷)，
1A 250V AC (誘導負荷 COS =0.4)

電気的寿命 10万回

通信エラー出力 通信エラー時に出力をONにします。

リレー接点：1a 制御容量 3A 250V AC (抵抗負荷)，
1A 250V AC (誘導負荷 COS =0.4)

電気的寿命 10万回

制 御 制御動作

- ・PID動作(オートチューニング機能付)
- ・PI動作：微分時間を0に設定した場合
- ・PD動作(手動リセット機能付)：積分時間値を0に設定した場合
- ・P動作(手動リセット機能付)：微分時間，積分時間の設定を0に設定した場合
- ・ON/OFF動作：比例帯を0に設定した場合
- OUT比例帯：0.0～110.0%(0.0に設定するとON/OFF動作になります)
- 積分時間：0～1000秒(0に設定すると積分動作なし)
- 微分時間：0～300秒(0に設定すると微分動作なし)
- OUT比例周期：1～120秒
- ARW：0～100%
- 手動リセット：±比例帯換算値

絶縁・耐電圧 回路絶縁構成



絶縁抵抗：500V DC 10M 以上

耐電圧：入力端子 - 電源端子間 1.5kV AC 1分間

出力端子 - 電源端子間 1.5kV AC 1分間

電 源 100～240V AC 50/60Hz，24V AC/DC 50/60Hz

許容電圧変動範囲 100～240V AC：85～264V AC
24V AC/DC：20～28V AC/DC

消費電力 約 5VA

周囲温度 0～50 (32～122°F)

周囲湿度 35～85%RH(ただし結露しない事)

質量 約320g

外形寸法 48×96×100mm(W×H×D)

材質 ケース：難燃性樹脂

外観色 ケース：ライトグレー

付属機能 [停電対策]

不揮発性ICメモリで設定データをバックアップします。

[自己診断]

ウォッチドックタイマでCPUを監視し、CPUの異常時には全出力をOFFにし、計器をウォームアップ状態にします。

[設定値変更時のエラー表示]

・本器(OMR-100)の設定値変更の場合

OMR-100からDCL-33Aに設定値を送信した時、該当するチャンネルのDCL-33Aが設定モードに入っていると、正常に設定値を送れないため、OMR-100は設定モードを終了しOMR-100のPV表示器に[Error5]を約2秒間表示します。

この時、OMR-100は、該当するDCL-33Aの全設定値を読み取り、OMR-100の設定値とDCL-33Aの設定値を一致させます。

・DCL-33Aの設定値変更の場合

OMR-100はDCL-33Aの設定値変更を検出すると、DCL-33Aから全設定値を読み取ります。全設定値読み取り後も、DCL-33Aが引き続き設定モードである場合、OMR-100のPV表示器に[Error5]が表示されます。

DCL-33Aの設定モードを終了すると、[Error5]は消灯し、OMR-100は該当するDCL-33Aの全設定値の読み取りを行います。

[通信エラー時の表示値]

・電源投入時、DCL-33Aの計器電源OFF、または通信ケーブルが接続してない場合、OMR-100とDCL-33A間の通信が成立しないため、OMR-100がDCL-33Aのデータを読み取っている間は、PV、全設定値に0を表示する。データの読み取りが終了するとPV表示器を消灯します。

・正常に通信している途中で、通信応答が返って来なくなったチャンネルはOMR-100のPV表示器を消灯します。(配線を正常な状態に戻してOMR-100の電源を再投入するか全設定値読み取り操作を行うと、OMR-100は全DCL-33Aから全設定を読み取れます。また、5分間毎に通信応答が返って来なくなったチャンネルにもコマンドを送り、正常な応答が返ってくれば、OMR-100は全DCL-33Aから全設定値を読み取れます。)

付属品 取扱説明書：1部

取付金具：1組(標準品はワンタッチ式取付金具)

(オプション：BL付加時は、ねじ式取付金具)

端子カバー：1個(オプション：TC付加時)

1 0 . 故障かな？と思ったら

ご使用の本器に電源が入っている事を確認されたのち、下記に示す内容の確認を行ってください。
表示について

現象・本器の状態	推定故障箇所と対策
P V表示器の表示が異常，または不安定。	・近くに誘導障害，またはノイズを出す機器がある。 誘導障害，またはノイズを出す機器より計器を離してください。
E R R表示灯が点灯している。	・通信ケーブル(CDM)の配線が間違っているか，断線している。 正常に配線，または通信ケーブル(CDM)を交換してください ・[OMR-100]と[DCL-33A]の通信速度が合っていない。 DCL-33Aの通信速度を19200bpsにしてください。

キー操作について

現象・本器の状態	推定故障箇所と対策
S V，P I D各値，警報設定値等の設定ができない。	・DCL-33AがA T実行中。 A Tを解除してください。

制御について(DCL-33Aの取扱説明書を参照してください。)

現象・本器の状態	推定故障箇所と対策
制御出力がO Nになったままになる。	・OUT下限設定値が，100%以上に設定されている。 OUT下限設定値を，適切な値にしてください。
制御出力がO F Fになったままになる。	・OUT上限設定値が，0%以下に設定されている。 OUT上限設定値を，適切な値にしてください。

本器についてご不明な点がございましたら，弊社営業所までお問い合わせください。

Shinko 神港テクノス株式会社

本 社	〒 562-0015 大阪府箕面市稲 1 丁目 2 番 4 8 号 TEL (0727)22-4571 FAX (0727)20-7823 URL: http://www.shinko-technos.co.jp	千 葉出張所 TEL: (043)286-0103 / FAX: (043)286-0104 神奈川出張所 TEL: (045)361-8270 / FAX: (045)361-8271
大阪営業所	〒 562-0015 大阪府箕面市稲 1 丁目 2 番 4 8 号 TEL (0727)24-6031 FAX (0727)24-6021 E-mail: sales@shinko-technos.co.jp	静 岡出張所 TEL: (054)282-4088 / FAX: (054)282-4088 広 島出張所 TEL: (082)231-7060 / FAX: (082)234-4334
東京営業所	〒 332-0006 埼玉県川口市末広 1 丁目 1 3 番 1 7 号 TEL (048)223-7121 FAX (048)223-7120	徳 島出張所 TEL: (0883)24-3570 / FAX: (0883)24-3217 福 岡出張所 TEL: (0942)77-0403 / FAX: (0942)77-3779
名古屋営業所	〒 460-0007 名古屋市中区新栄 2 丁目 1 9 番 3 号 TEL (052)261-8335 FAX (052)251-3833	福岡工場 徳島工場 三田工場